

(様式1)

令和6年5月10日

富山県教育委員会教育長 殿

富山県立富山商業高等学校
校長 宮池 秀洋

令和6年度学校経営計画を別紙(様式2・様式3)とともに提出します。

令和6年度 学 校 経 営 計 画

1 学校教育目標

校訓「自主協調」「明朗誠実」「進取敢闘」を指針として高等普通教育および商業に関する専門教育を施し、生涯にわたって愛と正義の理想を追求するより高い人格の育成に努める。

2 学校の特徴

- ・ 商業の高い専門性を極めながら、部活動も活発に展開している。
- ・ 礼儀を重んじ何事にも挑戦する真摯な態度を育て、全人的な教育を施している。
- ・ 地域社会に貢献できる商業人の育成を目指し、インターンシップや外部講師による授業の実施、生徒模擬株式会社「TOMI SHOP」の開催など、社会に即応した実践的教育を展開している。
- ・ 「愛され信頼される人間力」「課題解決力」「ビジネスの理解力・実践力」の3つの力を身につけさせることを掲げ、教育活動を実践している。
- ・ 学科改編の完成年度であり、問題の解決方法を設計(デザイン)するための考え方「(スタンフォード式)デザイン思考」を全学科に取り入れた商業教育を展開している。

3 学校の現状と課題

(1) 現状

- ・ 小学科制を採用し、1年次から各学科の特性を生かした教育課程を編成し、専門性の深化に努めている。
- ・ 教職員の共通理解のもと、相互に連携・協調を図り、挨拶や頭髪指導をはじめ、日々の生活指導をとおして人格教育に取り組んでおり、規律のある校風が保たれている。
- ・ 全生徒が部活動に加入しており、それぞれが全国大会出場などの高い目標に向かって部活動に励み、その活躍が学校の活性化に大きく貢献している。
- ・ 商業等の専門教育の成果を測る尺度として、積極的に高度な資格取得に挑戦し、生徒が自分の将来の生き方を考え、進路の適切な選択ができるよう支援している。
- ・ 専門家や企業人を招聘し、外部人材を活用することにより、アントレプレナーシップ(起業家精神)を学ぶとともに、探究的な活動に取り組み、新事業創出に挑戦する人材の育成に取り組んでいる。
- ・ 自己の行き方を見つめ、キャリアプランニング能力を身につけ、実践的な学習を通して、望ましい勤労観や職業観の育成に努めるとともに、社会人基礎力を段階的に身に付けさせている。

(2) 課題

- ・ 生徒の興味・関心や理解度の把握に努め、学力の3要素である「知識・技能」「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を学校全体で共有しながら確かな学力を身に付けさせる。
- ・ 生徒が将来の職業生活を見据え、真摯に学習に取り組み、主体的に進路を考えることができるように、自己実現に向けた支援に努める。
- ・ 生徒個々に応じたきめ細かな部活動指導に努め、生徒が目標に向かって粘り強く取り組むことができる教育環境を整える。
- ・ 日々の学校生活の中で、挨拶など基本的な生活習慣を確立させるとともに、コミュニケーション能力を高める教育活動を推進する。